

| 社会 | 特に育成したい能力や態度 (具体的な数字や言葉で記載する) 2～3にしぼる。 | 授業改善の視点と具体的な方策 (具体的に達成すべき数値目標を記載する) 左側のもとリンク【対応させる】 | 達成率【割合】 A・・・90%以上の児童 B・・・90～80%の児童 C・・・80～70%の児童 D・・・70%以下の児童 |
|----|--|--|---|
| 3年 | <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容、知識の定着を図る。 ・資料を読み取り、活用する力を高める。 ・設定した課題をもとに、インタビューや調べ学習を行い、必要な情報を集める。 | <ul style="list-style-type: none"> ・視聴覚教材を活用し、授業の始めなどに繰り返し取り組むことで、方位や地図記号など基礎的な知識を習得させる。 ・写真、地図、グラフを提示し、課題を発見しやすくしたり、比較させることで、変化や違いに気付かせたりする。 ・学習計画に、図書室での調べ学習やインターネットを使った検索、地域の方へのインタビューを順次取り入れ、さまざまな調べ方があることを理解させる。 | <p>(成果) 資料を見て、課題を発見しながら、学習することができた。また、変化や違いに気付けるようになってきた(達成率B)</p> <p>(課題) 調べ学習の際に、資料を読み取り、考察したことを言語化することに課題がある。</p> |
| 4年 | <ul style="list-style-type: none"> ・都道府県名や東京都の区市町村名を覚える。 ・地図や資料を使って読み取ったことから、社会的事象の見方・考え方を働かせて、考察したり、説明したりできるようにする。 ・社会的事象から学習問題を見出したり、学習したことを使って、日常生活に生かせることを考えられたりできるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・都道府県名については、国語の漢字学習を用いて習熟を図る。区市町村名については、タブレットPCなどのクイズやパズルを用いて興味をもたせ、繰り返し取り組み習熟させる。 ・必ず、「資料のどこを見たのか」「それが問いどう繋がるのか」など、根拠を明確にするように声を掛ける。 ・授業の中で、常に学習内容と身近な生活を比較させて考えさせる。振り返りやまとめのミニ新聞を活用し、自分が考えたことを記すようにさせる。 | <p>(成果) ミニ新聞の作成が、児童の中に定着した。「この單元ではここ」というように、自分が理解したことや印象に残ったことを、スムーズに書くことができるようになってきた。(達成率B)</p> <p>(課題) 都道府県名や区市町村名について、プリント類などの用意がなかなかできず、苦勞した。更なる工夫が必要である。</p> |
| 5年 | <p>①資料を的確に読み取り、活用できるようにする。</p> <p>②資料同士、社会的事象同士を関連付けて、課題に対して自分の考えをもち、説明できるようにする。</p> | <p>①資料を正確に理解し、そこから問題解決に向けて必要な情報を取り出すことができるようにする。そのために、資料に線を引いたり、文章資料と関係する図表をつなげたりして、読み取り方について指導を行う。また、ペア活動やグループ活動を取り入れ、どんな情報を取り出せばいいのか、共有し、考えられるようにする。【達成率80%】</p> <p>②コンセプトマップなどの思考ツールを活用し、資料や社会的事象同士の関連を考えられるようにする。その上で、ペア活動やグループ活動を取り入れ、社会的事象の特色や関連を多角的に考察できるようにする。【達成率80%】</p> | <p>①A：文章資料や関係する図表に線を引いたり、読み取りについて指導を行ったりしてきたことで、解決に必要な情報を読み取れる児童が多くいた。</p> <p>②コンセプトマップなどの活用によって、事象間の関連を考えたり、因果関係を考えたりする児童が見られるようになった。</p> |

| | | | |
|----------------|--|--|---|
| <p>6 年</p> | <p>① 情報を適切に調べ、まとめる能力を身に付けさせる。</p> <p>② 資料を活用し、気付いたことを自分の言葉で説明できるようになる。</p> | <p>① 写真や地図等の資料を読み取らせる機会を多くもたせたり、友達と考えを交流したりする場面を設定する。個人用端末を活用し、その日の学びや調べた内容をまとめる活動を多く行う。(達成率 80%)</p> <p>② グループ学習やペア学習を取り入れ、全員が自分の考えを発言できる機会を設ける。自分の考えを述べるのが難しい児童に対しては、疑問点を挙げ、それについて話し合う活動にすることで、対話的な学びの場を作る。(達成率 70%)</p> | <p>【成果】 日常の事象と関連付け、動画等視覚教材を用いたことによって理解は深まっていた。(達成率 B)</p> <p>【課題】 交流や説明の場面では、児童間のスキルの差がある。話合う際には議題を焦点化させる必要がある。</p> |
|----------------|--|--|---|